

会 議 録

会 議 の 名 称	平成29年度あま市防災会議
開 催 日 時	平成30年3月22日(木) 午後2時から午後3時5分まで
開 催 場 所	あま市役所本庁舎3階 特別会議室
議 題	あま市地域防災計画(案)について
会 議 資 料	あま市防災会議次第 あま市地域防災計画(案)の修正要旨 あま市地域防災計画(案)新旧対照表 あま市地域防災計画(案) あま市国民保護計画の修正要旨
公開・非公開の別 (非公開の場合はその理由)	公開
傍 聴 人 の 数 (公開した場合)	2人
出 席 委 員	村上浩司、荻田篤史、早川安広、石田隆義、村上照雄、福田學、林正彦、原田信一、山田篤史、柴田哲也、木村一、富田悦充、渡邊剛、岩間勝利、塚本 都、柴田伸彦、恒川卓矢、木村利男、青木啓
欠 席 委 員	松永裕和、片岡博喜、三浦速巳
事 務 局	(総務部) 吉川部長 (安全安心課) 中山課長、神戸主幹、原野係長、大鹿主事

会議録（要旨）

- 1 会長あいさつ
- 2 委員の委嘱について
- 3 あま市地域防災計画（案）について

●事務局

あま市地域防災計画（案）の修正要旨を説明

【質疑応答】

○委員

学生等が日常的に災害について学ぶ機会を充実すると表現されているが、学生等と記述すると対象を小中学生に限定しているように感じる。幼児の頃から災害に対する訓練を実施することにより自助に対する意識が向上すると思うため、学生等の表現を市民みんなが参画するような表現の方がいいのでは。

●事務局

学生等と表現しているため幼児を含む表現と考えている。また、高校生においてもセミナーに参加していただくなど防災意識の高揚を図っていきたい。

○委員

県において災害廃棄物処理計画を策定したが、市町村間や関係団体との人材育成や訓練について、あま市の現状を教えてほしい。

●事務局

計画を策定したばかりであるため、今後煮詰めていきたい。

○委員

近隣市町村における指定避難場所の記述があるが、あま市の現状を教えてほしい。

●事務局

昨年7月に14市町村にて愛知県西尾張市町村災害対応に関する相互応援協定を締結し、そのなかに被災者の受け入れに関することが明記されている。

担当者が一同に会して打合せを実施し、連携を高めている。なお、あま市では避難場所を指定していないため、今後検討していきたい。

【計画の修正について】

委員全員の賛成により、原案のとおり決定

4 その他

- (1) あま市国民保護計画の軽微な修正について

●事務局

あま市国民保護計画の修正要旨（平成29年度）を説明

【質疑応答】

○委員

10月20日に甚目寺体育館にて爆破予告があったが、その時の対応は。

●事務局

爆破予告などの緊急処理事態は、災害時における対応とよく似ている。爆破予告の際、市長を災害対策本部長とし、警察からの情報に基づいて行動した。

○委員

その際における警察からの情報は、どのように市民へ伝達されるのか。

●津島警察署

施設利用者を避難させた後に爆発物の有無を検索した。万が一爆発物があった場合は、影響が大きくなるため、あま市に協力していただき、近隣住民等にも伝達することを想定していた。

●事務局

情報伝達については、J-ALERTにて国からの情報を市で受け取った後に、防災情報メールを活用して瞬時に伝達するシステムを構築している。市民にはメールの登録を呼びかけている。

(2) その他

○委員

災害時の医療救護について、医師会・薬剤師会・歯科医師会と協定を締結している。市からは医薬品の先生や医療スタッフを連れてきてほしい等の要求があったが、行政主導でガイドラインを策定しないと医師会は動けない。

●事務局

ガイドラインをお示しできるように、次年度当初から健康推進課と進めていく。医薬品やスタッフについても同様に検討していきたい。

○委員

避難行動要支援者の名簿を作成されており、作成に際して自主防災会や地元の民生委員と協力すると記載されているが、自主防災会としては個人情報を取り扱うことになる。個人情報を地域でどのように管理するのか。

●事務局

現在、自主防災会へ避難行動要支援者名簿を配布していない。近隣自治体における対応を参考に検討を進めていく。

●会長

災害が発生し、必要と判断した時は、私が必要な地域に名簿を開示する。各自主防災会において、要支援者がどこで寝ているのかなど細かいところまで記載し

た名簿作りについてもお願いしたい。また、個人情報となるため、封印して自主防災会にて管理していただきたい。

○委員

各自主防災会から事業計画などの活動状況を提出してもらっているか。

●事務局

資機材購入や訓練開催の際に補助金を出しているため、その内容は把握しているが、事業計画については把握していない。なお、情報交換会において情報共有を行っている。

○委員

区長が自主防災会長であると自主防災会の訓練を、昨年を踏襲したものになる。自主防災会長は区長とは別に独立したほうが継続的实施できるためレベルアップできるのでは。また、自主防災会訓練の講師に海部東部消防組合の方を依頼していたが、近年は消防署の対応が縮小傾向にあるがあま市の方針なのか。

●事務局

情報交換会にて自主防災会長を継続していただきたいとお願いしている。また、訓練の人材育成については、消防団に対して訓練指導者講習を実施しているため、各地区の消防団員を取り込んでいただきたい。

●海部東部消防組合

複数の団体が訓練を実施する場合、規模によって職員の出し方を変えることがある。

○委員

消防団に依頼してもなかなか人を出していただけないが。

●消防団長

訓練を消防団に依頼するときに、人数を提示してほしい。

○委員

七宝町の時代に石油組合と協定を締結していたが、あま市合併後における協定の締結状況は。

●事務局

石油組合との協定は県と締結している。

○委員

自主防災会に対して行政からの指導にて防災対策を進めていただきたい。

●事務局

自主防災会における温度差は感じている。情報交換会において、問題点を洗い出して市全体において底上げをはかっていきたい。

●会長

防災カレッジを毎年実施しており、自主防災会から2名ずつ受講していただい

ている。またレベルアップ講座も開催し、自主防災会の底上げを図っている。

